

第9回 奈良公園地区整備検討委員会 議事要旨

日時 : 平成26年12月15日(月) 午前13時00分～15時30分
場所 : やまと会議室 5階 大会議室
出席者 : 委員長 増井 正哉
委員 井原 縁、北口 照美、佐野 純子、塚口 博司、平井 宗助、
野矢 明、坂井 賢次、山本 浩扶臣、遊津 隆義、
事務局 奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局奈良公園室
関係部局 《奈良県》道路環境課、奈良公園事務所、景観・自然環境課、
文化財保存課、文化振興課、管財課
《関係機関》奈良市景観課、奈良市文化財課、奈良市観光振興課、
奈良市総合政策課

- 議事 I. 報告案件
II. (仮称) 登大路ターミナル
III. 吉城園周辺地区

議事要旨

<報告案件について>

- 若草山移動支援のバス案の検討にあたっては、現在の若草山周辺の植栽等、自然環境の再生も含んだ検討を行っていくという県の方向性は、よい方針である。
- バス案が可能か否かについての進め方について、検討プロセスを大切にしていくこと。

<(仮称) 登大路ターミナルについて>

- 設計発注について了解。
- (仮称) 登大路ターミナルを作る理念として、最も混雑する日の不足分を補うという整理ではなく、一般車を含む混雑緩和のコントロール機能等を有効に使うという理念が大事。
- 奈良公園のエントランス部分に、複合施設として歴史文化学習や店舗等があることは、魅力がある。特に学習機能については、新しい観光スタイルをリードできるような施設を検討してほしい。また、ディスカッションできるようなスペースもあればよい。
- 屋上庭園のデザインについては、視点場として周辺にある本物の奈良公園を楽しめる物が望ましい。
- 当施設のネーミングについて、目的のわかりやすい名前が望ましい。

<吉城園周辺地区について>

- 吉城園全体を考える上で、建物と土塀の残し方が重要。土塀の扱いは、人の動線と関わるので一部通路を作るといふこともよいと思う。
- 庭と建物の配置など、現存施設は区画毎に同じ発想で作られているように感じる。同じ屋敷構えが連坦する空間構造の継承が重要。
- 三官舎跡の位置付けを明確に。地形や空間的に考えたまとめ方で整理してはどうか。
- 事業方針等を民間にどう示していくかなど、これもやはりプロセスが大事。
- 募集要項案を一度整備検討委員会で議論していくこと。

以 上